

【木の名札】

「自主活動」のみ



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



内容

交流の家周辺で自然の素材を集め、材料の形を活かして自然物の作品作りに挑戦する活動です。

活動に必要なもの

- 団体（個人）で用意するもの
 - ①木の名札キット230円（※1か月前までに「教材申込書」を食堂に提出する。）
 - ②はさみ ③カッター ④紙やすり ⑤木工用ボンド ⑥軍手
 - ⑦新聞紙 ⑧軍手
- 交流の家で貸出可能なもの
 - ①バーニングペン ②グルーガン ③油性マジック

活動前の準備

- 入所の受付時に、実施場所や活動時間等の確認を行う。
- 「ゴミ袋」を事務室で受け取る。
- 食堂に、教材を取りに行く。
- 活動場所で、用具の準備を行う。

活動の流れ

【活動中】

- ①道具の使い方、活動の進め方等を確認する。
- ②木の名札を作る。（※「木の名札の作り方」参照）

【作成後】

- 使用した研修室を清掃し、机を元の状態に戻す。
- 使用した道具を倉庫に片付ける。
- 「ゴミ袋」を事務室に返却し、活動終了の報告をする。
- 報告後、使用した場所は職員の点検を受ける。

留意点

- R7年度まで、活動前に職員との打ち合わせを行っていましたが、R8年度より、打ち合わせは原則行いません。HP掲載の活動マニュアルを必ずご確認ください、不明点等ございましたら、交流の家までお問い合わせください。
- 木の実等を取りにオリエンテーリングコース等に入る場合は、マダニやアブ等刺される被害があります。肌が露出しない服装で活動してください。
- 刃物、バーニングペン、グルーガンを扱うので、けがややけどに十分に注意してください。